

國民學校の實施とともにつて

及川ふみ

最初の國民學校の一年生となつた今年の幼稚園の修了生も、やうやく學校生活にもなれて三々五々歸宅の途中幼稚園に遊びにくる。新しいかばんの中から一冊又一冊と順々目新らしい書物を出しては見せてくれる。

ヨイコドモ ヨミカタ コト
パノオケイコ カズノホン
ウタノホン エノホン

いづれも可愛らしい繪入りものばかりで、生徒のよろこびさうな本ばかりである。この人たちがこれ等の、書物によつて小さい國民としての修練にいそむき、かつての幼稚園での生活指導がそれだけそれき歩調が合つてゐたであらうかまひそかに考へさせられることである。昨年の夏文部省の保育講習においての倉橋先生の「國民學校

と國民幼稚園」の御講演によつて、幼稚園が國民學校の實施にあつて、幼稚園が國民學校と同一精神によつて充實せられ、かつ普及せられ、刷新せらるべきであることを拜聴した。それ以來我々直接幼児の保育の實際にあつてゐるものとして、具體的に各保育項目に互つて研究をつげなくてはならないと考へた。

それにつき同志相寄つて去る二月八日に附屬國民學校の主事堀先生をわづらはし、先生を中心に座談會を開き、國民學校の低學年の理科と幼稚園の觀察について詳細にわたつた御指導を受けた。(幼児教育三・四月號掲載)

ついで四月二十二日には文部省の監修官鹽野先生について國民學校一年生の數についての懇切なる御指導を受け、カズノホン一につき實際的な御説明を願つた。これによつて、幼稚園での數觀念の指導の範圍、方法なきについて進むべき道を教へられた。

ひきつゞき四月二十四日には東京高等師範學校の附屬國民學校の小林先生について、國民學校の一年生のウタノホンの指導の實際、音感教育の實際につき御指導を受けた。

鹽野先生のお話の詳細は、幼児の教育五月號及び六月號に、小林先生のお話は、同じく幼児の教育五月號に掲載されてゐる。お話を直接に伺ふことの出来たものもその御指導の精神を精神として保育の實際につき從來の保育に對し

ての刷新を考へるのは勿論であるが、本誌愛讀の我々の誌友の諸姉も三先生の御高説を熱讀吟味して保育の實際案刷新の良き指針させられることをのぞんでやまない次第である。

さらにすゝんで國民學校の低學年ここに一年生の教授の實際につき親しく參觀して、その學校生活の實際の状態に精通しておかなくてはならないといふことは言ふまでもないことである。

今日我々保育の實際家は保育の實際案作成上、從來の保

育の實際を省みて、談話、唱歌、遊戲、手技、觀察等の各保育項目につき、その材料の選擇に、難易の程度、量の點、配列なきの點につき各地各園に最も適切なるものを自ら作りあげなくてはならない。又幼児の生活訓練については殊更に國民學校と同一精神によつて考究したものでなくてはならないことを痛感する次第である。要するに新らしく國民學校が實施されてゐる今日、我々保育者としても幼児保育の上に刷新せられなくてはならない諸點につき考究する事が目下の急務である。

經驗者の言

私は保姆生活十二年、十二年の故に他人は經驗者と呼ぶ。假に自らも經驗者と僭稱する所以である。

最近ある機會に若い保姆さんの手記を見た。先づその眞剣さを敬しい鞭ミも感じ、更に昔の自分の寫眞を眺める様な、なつかしさを覺えつゝ些かの感無きを得ず、茲にその

十文字高女附屬幼稚園 留岡よし子

手記の一部を記して、「六月號に何かせひ」ミかねて命ぜられてゐた責を果したいと思ふ。

手記は始まる

「私は一體毎日何をしてゐるか。